

---

## プレスリリース

---

ロンドン、2024年3月6日 06:00

### プラチナ市場、連続で供給不足：2023年の27トンに続き、2024年も13トン不足の見通し

- プラチナ需要は2023年に25%急増、2024年も堅調に推移する見込み
- 2023年のプラチナ供給量は過去最低水準に近く、2024年にはさらに1%減少する見通し
- 2023年の自動車需要は16%増加、2024年も増加する見込み
- 2024年の工業需要は2023年の過去最高から14%減少するも、依然としてコロナ禍前の5年平均を12%上回る見込み
- 2023年に続き、2024年も純投資需要はプラス

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル（WPIC®）は本日、2023年第4四半期のPlatinum Quarterlyと、2023年通年の総括を発表し、2024年予想を修正しました。

2023年のプラチナ市場は27トンの大幅な不足に転じ、2023年第4四半期には2トンの不足となるなど、全四半期にわたり不足しました。総需要は前年比25%増の249トンに達したものの、総供給量は222トンに減少し、2013年以降ではコロナ禍の影響を受けた2020年に次ぐ2番目の低水準でした。

2024年はさらに13トンの不足となる見通しです。需要は6%減の233トンになると予想されますが、これは2019年以降の5年間の平均を依然として上回っています。一方で、総供給量は前年比でさらに1%減少し、220トンになると予想されています。

#### 2024年はプラチナリサイクルのさらなる減少が総供給不足に拍車

2023年の世界のリサイクルによる供給量は3年連続で減少して前年比14%減の46トンとなり、コロナ禍前の5年平均を約22%下回りました。2023年第4四半期は特に低調で、前年同期比14%減のわずか11トンとなり、統計を開始した2014年以降で最も低調な四半期となりました。これは主に、北米の盗難防止規制の強化と中国の自動車触媒リサイクル制限により、使用済み自動車触媒の回収量が18%減少したことが原因です。2024年には、使用済み自動車触媒の供給回復と規制緩和により、7%増の50トンになると予想されています。

2023年の世界の鉱山供給量は175トンで、前年の供給量減少から1%増加しました。2024年を展望すると、世界のプラチナ鉱山供給量は3%減の171トンになると予想されています。減少が予想される主因は南アフリカの生産量の減少で、前年同期比1%の減少（-2トン）が予想されており、継続的な下振れリスクがくすぶっています。さらにロシアでは、生産量が前年同期比で9%（-2トン）減少すると予想されています。

2023年の地上在庫は18%減の124トンでした。2024年の予測では、地上在庫はさらに10%減の111トンとなり、4年ぶりの低水準となります。

#### 2024年の自動車用プラチナ需要は7年ぶり高水準に達する見込み

2023年には、自動車用プラチナ需要が急増し16%増の102トンに達しました。これは、自動車生産台数の増加とハイブリッド車のシェア拡大が追い風となり、ハイブリッド化に伴ってPGM装填量が増加したためです。加えて、特に中国において小型車と大型車の排ガス規

制が強化されたことも、需要の伸びを後押ししました。さらに、2023年には、パラジウムの代替としてのプラチナ需要が2022年の12トンから大幅に増加し、21トンに達しました。

自動車需要の伸びは2024年も続く見込みですが、より緩やかなペースで前年比1%増の103トンとなり、7年ぶりの高水準に達すると予想されています。大型車とハイブリッド車の生産台数は引き続き堅調な伸びを示し、排ガス規制強化とパラジウムの代替としてのプラチナ需要増（約23トンに達すると予想）が相まって、世界全体で予想される内燃エンジン車生産台数の減少を相殺するとみられています。

#### **2023年の工業需要は過去最高、2024年はコロナ禍前の5年平均を大きく上回る**

2023年の工業需要は過去最高を記録し、ガラス（39%増の22トン）と化学セクター（13%増の24トン）の大幅な拡大に牽引され、12%増の82トンとなりました。さらに医療分野では、発展途上国における医療支出の増加と医療アクセスの拡大により4%増の9トンとなったほか、「その他」の産業用途への需要が5%増の19トンとなりました。この伸びは、電気部門（16%減の3トン）と石油部門（12%減の5トン）の減少を補いました。

2024年に同程度の水準で生産能力が拡張されなければ、工業需要は14%減少すると予想されます。とはいえ、工業需要はコロナ禍前の5年平均を12%上回る70トンとなる見通しです。化学部門とガラス部門の需要は減少（それぞれ、30%減の17トン、24%減の16トン）が予想されますが、医療部門と「その他」の産業部門の需要はそれぞれ3%増の9トン、7%増の20トンの増加が予想されます。

#### **2024年の投資需要は2年連続で純増の見込み**

2023年にプラチナ純投資量は8トン増加し、プラチナ投資環境は顕著に回復しました。この回復は、プラチナの地金およびコインの小売需要が22%増加し、特に日本での大幅な回復に牽引されたことで浮き彫りになりました。さらに、スポット市場よりも先物プレミアムの方が有利であったため、ニューヨーク証券取引所と東京商品取引所の在庫が0.5トン増加しました。一方で、プラチナ上場信託（ETF）投資は年初に増加したものの、通年では1トン減少しました。

2024年のプラチナ純投資量は2トンで、2年連続でプラスを維持すると予想されています。世界の地金およびコインへの投資量は5トンに減少すると予想されますが、これは1年を通じて予想されるプラチナ価格の上昇が原因であり、特に日本の一部の投資家が利益確定に動く可能性があります。プラチナETFの保有量は、欧州と北米の高金利の影響を受けて4トン減少すると予想されますが、取引所在庫には1トンの流入が見込まれています。

#### **プラチナ宝飾品需要は増加の予想**

2023年の世界の宝飾品需要は3%減の58トンで、インドと北米の増加が中国などの地域の低迷を相殺することはできませんでした。2024年の世界の宝飾品需要は、経済成長、男性用宝飾品の販促強化、新規開店に後押しされたインドの大幅成長（12%増の7トン）に牽引され、3%増の59トンになると予想されています。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのトレバー・レイモンド CEO は、次のように述べています。「供給不足の継続は、世界経済が困難な状況にあるなかで、プラチナ需要の底堅さと供給の脆弱性を浮き彫りにしています。プラチナ需要の2023年の大幅伸長と2024年の予想水準は、排ガス規制の強化、ハイブリッド化の推進、パラジウムの代替としてのプラチナ需要の著しい増加によって内燃エンジン車の生産台数が減少しているにもかかわらず、自動車需要が堅調に伸びるという前提に大きく依存しています。パラジウムの代替として一度プラチナが使用されれば、パラジウムの取引価格がプラチナ価格を下回り続けたとしても、自動車プラットフォームの耐用年数7年の間に関連するプラチナ需要が逆転する可能性は低く、これは注目に値します。

逆に、プラチナ需要は引き続き旺盛である反面、供給の下振れリスクは高まっています。パラジウムとロジウムの価格が大幅に下落したため、鉱山供給の経済性が脅かされており、すでにいくつかの供給合理化計画が発表されています。鉱山供給への短期的な下振れ影響は依然不透明ですが、供給が減少すれば、需要増加やプラチナ価格上昇に対する当面の供給反応も大きく制約されます。また、現在の経済環境で消費者が以前よりも長く自動車を使い続けていることから使用済み自動車が不足し、これによってリサイクル供給が過去の水準を大きく下回っていることも、大きな下振れリスクとなっています。このような供給リスクは、プラチナ市場の供給不足を現時点の予測以上に深刻化させる可能性がある一方で、広く予想されている**パラジウム**余剰の遅延または解消につながるため、パラジウム市場にも大きな影響を及ぼす可能性があります。」

「プラチナ投資の課題は、価格が基調的なファンダメンタルズに対応していないことです。これは、レンジ相場に影響されたアルゴリズム取引と、コロナ禍と半導体不足を受けて、自動車メーカーでは **3,000** 万台以上の過少生産となっていた時期に積み増されたプラチナ過剰在庫の**管理を行なっているため**と考えられます。レンジ相場は価格がボックス圏を抜けるまで続く可能性が高いですが、自動車メーカーの在庫管理プロセスはほぼ一巡すると推測しています」

「さらに、電解槽を用いたグリーン水素製造におけるプラチナの使用が、世界の脱炭素化における重要な役割を果たすため、プラチナと水素経済との成長の続く関係が、世界の投資家の関心を集めています。水素関連のプラチナ需要は中期的に大幅な伸びが予想されます。**2024** 年は各国政府が発表した税制優遇措置や補助金 **3,000** 億米ドル超の最初の割当および配分が実施される見込みで、これによって水素のためのプラチナ需要がさらに加速する可能性があります。水素のためのプラチナ需要が高まるなか、プラチナは、投資家に対し、世界の脱炭素化に関連する資産に関わる手段を提供しています」

プラチナ需給バランス (トン)	2020	2021	2022	2023	2024予想	2023年/2022年成長率 (%)	2024年予想/2023年成長率 (%)	2022年第4四半期	2023年第3四半期	2023年第4四半期
<b>供給</b>										
<b>製錬高</b>	155	196	172	174	171	1%	-2%	41	43	47
南アフリカ	103	146	122	123	121	1%	-1%	29	31	35
ジンバブエ	14	15	15	16	16	6%	-1%	4	4	4
北米	10	8	8	9	9	5%	1%	2	2	2
ロシア	22	20	21	21	19	2%	-9%	5	5	4
その他	6	6	6	6	6	-5%	7%	2	2	1
<b>生産者製品在庫における増減 (+/-)</b>	-3	-3	+1	+1	+0	7%	-100%	+1	+0	-0
<b>鉱山からの総供給量</b>	<b>153</b>	<b>193</b>	<b>173</b>	<b>175</b>	<b>171</b>	<b>1%</b>	<b>-3%</b>	<b>42</b>	<b>44</b>	<b>47</b>
<b>リサイクル</b>										
自動車触媒	47	50	40	33	36	-17%	9%	9	8	8
宝飾品	13	13	12	11	11	-6%	3%	3	3	3
工業	2	2	2	2	2	3%	6%	1	1	1
<b>総供給量</b>	<b>215</b>	<b>258</b>	<b>227</b>	<b>222</b>	<b>220</b>	<b>-2%</b>	<b>-1%</b>	<b>55</b>	<b>55</b>	<b>58</b>
<b>需要</b>										
<b>自動車</b>	72	78	88	102	103	16%	1%	23	25	26
自動車触媒	72	78	88	102	103	16%	1%	23	25	26
ノンロード	†	†	†	†	†	N/A	N/A	†	†	†
<b>宝飾品</b>	57	61	59	58	59	-3%	3%	14	14	14
<b>工業</b>	65	79	73	82	70	12%	-14%	17	17	23
化学	20	21	21	24	17	13%	-30%	8	4	4
石油	3	5	6	5	5	-12%	-8%	2	1	1
電気	4	4	3	3	3	-16%	-3%	1	1	1
ガラス	15	23	16	22	16	39%	-24%	5	5	10
医療	8	8	9	9	9	4%	3%	2	2	2
その他	16	17	18	19	20	5%	7%	4	5	5
<b>投資</b>	48	-2	-20	8	2	N/A	-80%	-2	6	-3
地金およびコインの増減	18	10	7	8	5	22%	-44%	-0	2	1
ETF保有高の増減	16	-7	-17	-1	-4	N/A	N/A	-2	-3	-4
取引所在庫の増減	14	-4	-10	0	1	N/A	38%	0	1	-0
<b>総需要</b>	<b>241</b>	<b>216</b>	<b>199</b>	<b>249</b>	<b>233</b>	<b>25%</b>	<b>-6%</b>	<b>52</b>	<b>56</b>	<b>60</b>
<b>残余量</b>	<b>-27</b>	<b>42</b>	<b>28</b>	<b>-27</b>	<b>-13</b>	<b>N/A</b>	<b>N/A</b>	<b>2</b>	<b>-1</b>	<b>-2</b>
<b>地上在庫</b>	<b>82**</b>	<b>124</b>	<b>152</b>	<b>124</b>	<b>111</b>	<b>-18%</b>	<b>-10%</b>			

出典：Metals Focus 2020 - 2024

注記：

- \*\* 2018年12月31日現在の地上在庫114トン (Metals Focus)
- † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます

-終了-

メディア関連のご要望は、**Elephant Communications** にお問い合わせください  
wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

### 『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。WPICが委託し、プラチナ金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus が実施した調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

## World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル、WPIC®) について

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル (WPIC) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資家の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者によって 2014 年に設立されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impalats、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Sedibelo Platinum (セディベロプラチナ)、Tharisa です。

詳細は、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください

WPIC ロンドン事務局所在地：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

WPIC 上海事務所：中国上海市浦東新区銀城路 8 号 ICBC タワー 2301 号 World Platinum Investment Council

## Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム、ロジウム市場の調査に特化し、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト [www.metalsfocus.com](http://www.metalsfocus.com) をご覧ください。

## プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の物性を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 72%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 30%から 44%の間を推移しています。自動車以外の工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 32%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品における世界の年間総需要は、プラチナ総需要の平均 26%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も変動が大きく、過去 5 年間は総需要の-10%から 20%を占めています（投資家が保有する未公表の保有残高の変動を除く）。

## 免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、その

ように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受け  
てください。詳細は、ウェブサイト [www.platinuminvestment.com](http://www.platinuminvestment.com) をご覧ください